
多くのご利用ありがとうございました！



図書館報

第 237 (23-3) 号 (2024.3)

横浜女子短期大学図書館

TEL 045-835-8115 / FAX 045-835-8118

E-mail lib@yokotan.ac.jp

2年生から後輩のみなさんへ

2年間の学生生活で多くの経験をし、普段から図書館をよく利用してくれた2年生に課題や実習準備、息抜きのための上手な活用法を教えてもらいました。卒業間際の忙しい時期に原稿をありがとうございました。1年生のみなさん、先輩からのメッセージを参考に、これからも図書館を有効に利用してください。

安心できる場所

M. M.

だれでも実習が始まる前は、子どもたちに「どんな絵本を読み聞かせしよう」、「どんな遊びをしよう」など不安に思うことがたくさんあると思います。そんな時に図書館に行くと実習に役立つ絵本や、紙芝居、日誌の書き方や責任実習の立案方法までたくさんのお勧めの本があるので、自信を持って子どもたちと関わることができます。私は実習中、図書館で借りた本に頼って、そのおかげで楽しく子どもたちと接することができました。また、3階には机と座り心地の良い椅子があるので、本を借りなくてもリラックスしたい時に行くのもとてもおすすめです。



実習の準備は図書館で

Y. K.

私は、実習前やオープンキャンパス（スタッフをしていました）で資料が必要な時、試験勉強や課題を取り組むときに図書館を利用しました。静かな環境の中、広い机で学習することができます。本館から少し遠いのですが、とてもすてきな空間です。実習は最大で15日間あり、絵本や紙芝居、指導案の書き方などの本を借りておくと、実習期間中の安心材料になると思います。図書館司書の二人は優しく一緒に本を探してくれたり、温かく寄り添ってくれます。気軽に図書館へ行ってみてください。



絵本は何冊あってもいい

H. K.

実習のたびにお世話になったのは図書館でした。普段から季節にあった絵本を見やすく展示してあったり、実習前には日誌の書き方や指導案等の本を机いっぱい揃え「実習フェア」が開催されます。一から自分で探すのは大変なので本当に助かりました。

初めての实習では実習関連の本を必ず借りてほしいです。実習期間中はすぐに先生に相談するのは難しく、自分でなんとかしなければならないので、実習ガイドなどを一冊持ったのでぞむと安心です。絵本をさがすとき、題名が分からなくてもカウンターで聞くと丁寧に教えてくれます。絵本は何冊あってもいいです。あるだけ自分の実習を助けてくれます。私は必ず20冊近く借りて実習を乗り越えてきました。

実習以外でも空き時間に図書館で過ごすのも楽しいです。本に囲まれている空間が幸せです。ぜひ図書館をたくさん利用してください。



卒業を迎えるみなさんへ



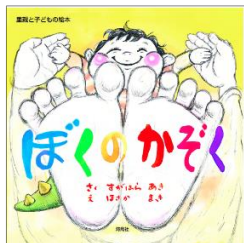
おすすめの1冊

●●先生から●●

『ぼくのかぞく』（菅原亜紀）

図書館長 スティーヴン・トムソン

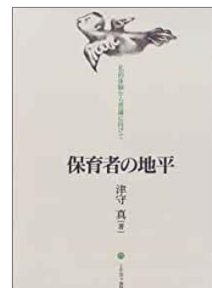
今回紹介したい本は里親と里子をテーマにした少し珍しい絵本『ぼくのかぞく』です。現在の社会的養護では里親を増やす努力が各地域で行われおり、社会が里親や里親で生活している子どもの理解をより深めることが絵本の基本的な目的です。しかし、もう一つの意図は里親で生活している子どもに精神的な安らぎを与えることです。絵本の主人公は生後間もない時に母親（生みの親）から離れ、里親の元で生活をはじめた幼児です。里親に深く愛され、里親の努力により生みの親との関係も育まれ、主人公は2人のママがいることを理解していました。ある日、主人公は砂場で友達にある疑問を投げかけられます。「どうしてママがふたりもいるの、普通ママは一人だけだよ？」と。不安になった主人公は家に帰ると里親に「普通ママはひとりなの？」と答えを求めます。里親は笑いながら美しい言葉で主人公の心配を取り除きます。里親や社会的養護下で生活している多くの子どもが抱えている「私は普通ではない」という深い疎外感を和らげる物語です。この絵本は、特に里親で生活している幼児に読み聞かせ、その物語に触れさせてあげたい作品です。里親で生活している子どもとの関わりがあれば、ぜひ読んであげてください。（海鳥社）



『保育者の地平—私的体験から普遍に向けて—』（津守真）

本田 幸

著者の津守真先生は、発達心理学の研究者として、長年にわたり子どもの研究をされてきました。『保育者の地平』には、著者が12年間、愛育養護学校の校長として子どもと関わり、保育実践を行った体験がまとめられています。ご自身の保育者第1日目から、12年間の実践と省察です。5年目からは、担任も経験されています。この本を通して、保育者にとって大切なのは子どもと過ごす「いま」であるということ強く教えられます。さらに、保育を実践する上で、子どもを理解することの難しさや担任としての悩みなどにも触れられています。そのような意味でこの本は保育論であり、保育者論でもあります。保育の仕事は、楽しさや喜びがたくさんあります。けれども、私は、保育は言葉や理論で表現されるほどに簡単ではなく、実践することは本当に難しいと常々思っています。難しいからこそ、やりがいがあるのかもしれない。



この本の最後には次のような言葉が記されています。

「子どもが生きる場所が光り輝くように

子どもがはじめた小さなことに目をとめて、それにこたえる保育者となるように」
私はこの言葉を大切にしていきたいと考えています。（ミネルヴァ書房）

もう一冊、ぜひ読んでほしい本をご紹介します。

『倉橋惣三物語 上皇さまの教育係』（倉橋燿子・倉橋麻生）

この物語は、「近代幼児教育の父」「日本のフレーベル」と呼ばれる倉橋惣三の伝記小説です。著者は、倉橋惣三のお孫さんの奥様（倉橋燿子さん）とその娘さん（倉橋麻生さん）です。少年期から73歳で生涯をとじるまでの出来事が、日記やその他の資料をもとに物語として書かれています。

倉橋惣三は大学で心理学を学び、幼児教育の理論構築に努め、日本の保育界に大きな足跡を残しました。優れた理論家であると同時に豊かな感性をもった人物でした。それは、著書『育ての心』などからも感じることができます。内気で臆病な性格で、運動がとても苦手な子どもでした。その惣三少年には、近所に住む年下の一平、正太郎という大切な仲間がいました。彼らとの

出会いは、倉橋惣三と児童学を繋ぐ原点となりました。いつまでも温かいまなざしで子どもを見つめていた方なのだと感じます。

子どものことが好きで保育学を選び、学んできたみなさんです。倉橋惣三について“もっと知りたい！”と思った時に、ぜひ読んでみてください。（講談社）



◆◆図書館員から◆◆

『シリーズ福祉に生きる 平野恒』 (亀谷美代子)

原 真由美

入学したときに贈られたこの本を、2年間の学びを終えた今あらためておすすめします。

横浜女子短期大学の創立者平野恒先生は、子どもの幸せ、福祉の充実を常に願い保育者養成などの仕事に邁進し、生涯第一線でその使命を貫きました。この本は元図書館長である亀谷美代子さんが直接教えを受けた者として、その歩みをまとめたものです。私も学生時代に「保育原理」の授業を受けましたがそれはとても厳しいもので、指名されたら即明確に回答しなくてはならず、とても緊張する時間でした。授業のある日は目立たない色の服を着ていつも前の席の友人の影に隠れていました。

恒先生はいつも私たちに「良い働きをしてください」とおっしゃいました。それは横浜女子短期大学で学んだことに誇りを持って社会へ貢献してくださいという、愛が込められた言葉でした。書物に親しむことの大切さを説き、学生さんと保育者によりよい教育環境を整備するために立派な図書館を作ってくださいました。

この短大で学んだこと、出会った友人は生涯の宝物になるはずで
す。またいつでも図書館を利用してください。 (大空社)



『私たちの世代は』 (瀬尾まいこ)

宗 梨紗

私の世代は氷河期世代とゆとり世代の間のプレッシャー世代と呼ばれています。今の世代はZ世代などと呼ばれていますが、自分の人生を振り返った時にコロナなくして語れなくなったと思います。

この小説はコロナ禍を生き延びた若者たちが大人になるまでを描いています。未知のウイルスの流行により制限を余儀なくされ、学校生活や友達・親子関係などの生活や後の人生に影響をもたらしていく様がリアルに描かれています。そのコロナ禍で葛藤し苦しみながらも成長していく登場人物たちは、他人との繋がりや、精一杯生きることへの大切さを気づかせてくれます。学生にとっての学校生活は人生の大部分を占めており、そこでの不自由さや苦しみは計り知れません。

私たちもコロナに翻弄され過ごしてきた数年間があるからこそこの小説に共感し、当たり前毎日に幸せを感じられるのでしょうか。どんな環境においても懸命に生きる力強さや、自分自身の人生を見直すきっかけを与えてくれる一冊です。 (文藝春秋)



卒業後の利用* お待ちしています!

卒業後も在学中と同じように図書館を利用できます。仕事帰りや平日のお休みを利用して資料をさがしに来る卒業生がいます。保育の現場でアイデアが必要な時、息抜きをしたい時、使い慣れた図書館にまた足を運んでください。

◆利用の仕方◆

1. 利用日時を前日までにメール (lib@yokotan.ac.jp) または電話 (直通 045-835-8115) で連絡ください。
2. 当日、本館受付で手続きをして図書館まで来てください。
3. ライブラリーカードを持参してください (更新手続きをします)。

*利用の際は、開館日など最新情報をホームページで確認してください。

便利なホームページを活用してください。



自宅から本もさがせます

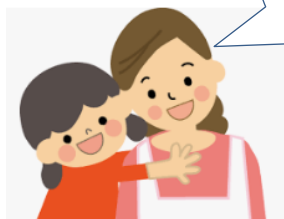
カレンダーで開館日を確認

詳しい利用について

最新のお知らせ

嬉しい卒業生の声です。

平日、仕事か休みの日に利用しています。



公共図書館に保育の本はないので便利です。

卒業後に良さがわかりました。

図書館カレンダー



3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	<u>2</u>
<u>3</u>	4	5	6	7	8	<u>9</u>
<u>10</u>	11	12	13	14	15	<u>16</u>
<u>17</u>	18	19	<u>20</u>	21	22	<u>23</u>
<u>24</u>	25	26	27	28	29	<u>30</u>
<u>31</u>						

4 April



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	<u>6</u>
<u>7</u>	8	9	10	11	12	13
<u>14</u>	15	16	12	18	19	<u>20</u>
<u>21</u>	22	23	17	25	26	<u>27</u>
<u>28</u>	<u>29</u>	30				

休館日：__

平日 3月：9:00～16:50

授業の準備などで9:00前から利用したいときは、事務室に声をかけてください。
8:50ごろから開館します。

4月以降の開館時間について

平日（月～金）：9:00～18:00（閉館時間を変更します。ご注意ください。）

土曜：9:00～15:00（授業のある日、月1回開館を予定しています。
閉館時間を変更する場合があります）

メールアドレスの登録をどうぞ。

延長、予約、リクエストの連絡に便利です。

QRコードを読み取り学年と氏名を送信してください。折り返し、登録完了のメールを送ります。

登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。



後記

2年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。長いようであつという間だった2年間、たくさんの実習を乗り越えて学んだことや経験は今後も必ず役に立つでしょう。みなさんのご活躍を心より応援しております。卒業後も図書館へ元気な姿を見せに来てください。館員一同お待ちしております。（宗）